国士舘100周年創立記念祭

空手道部

空手道部の歩み

本空手道部は、昭和38（1963）年に創部され、今年で54年目を迎えました。

創部当時は世田谷キャンパス近くの豪徳寺の境内や学内の廊下、剣道場の片隅を間借りしての稽古でしたが、昭和57（1982）年に本校校舎隣に柴田会館が建設された際に、その地下1～2階を吹き抜けにした約100坪の専用道場を与えて頂きました。

大会戦績としては現在師範でもある山本英雄OBが日本空手協会第26回大会（昭和58年）と第27回大会（昭和59年）で優勝。また第１回ワールドカップやITKF世界大会などでも優勝という輝かしい戦績を残しました。同じく横道正明OBも日本空手協会の第30回大会（昭和62年）で優勝。国体や国際大会でも多くの戦果を挙げ、現在に至る強さの指標を築きました。

全日本学生空手道選手権大会では亀山歩OB（現監督）が第47回大会（平成15年）男子組手にて優勝を果たしました。また全日本強化選手としてナショナルチーム入りをし、アジア空手道選手権大会でも優勝を果たすなど、国内外で目覚しい活躍を遂げました。

同じく全日本学生空手道選手権大会、女子形の部では、宇佐美里香OG（現コーチ）が第51回（平成19年）大会で優勝。さらに同年、全日本空手道連盟主催の第35回全日本大会でも優勝をしたのを皮切りに、同全日本大会５回、国民体育大会の空手道競技成年女子形４連覇など、破竹の勢いで勝ち進み、とうとう2011年、フランス・パリにて開催されたWKF主催第21回世界空手道選手権大会にて優勝するという快挙を成し遂げました。

空手道を通じ地域社会に貢献できる人材の育成を目指す

本空手道部の指導方針としては、飽くまで「基本」と「気魄」を重視し、厳しい稽古により他校に負けない自信と精神力を養い、社会においていかなる苦境にあったとしても、それを耐え乗り切れる心身を作り上げる事を旨とすると同時に、競技大会で勝てる科学的トレーニングなども採用しています。

卒業生はあらゆるジャンルで活躍しており、中でもその多くが学校教員や道場指導者となって空手道指導にあたっています。

特に高校空手道部の強豪校に多くの卒業生が監督・コーチとして指導に当たっており、次世代の空手道界の人材育成に大きく貢献していると自負しております。

大会で成績を納める事も重要ですが、それ以上に指導者として、人に指導できるような人材、社会人として国や地域社会に貢献できる人材を育成する事を理念としています。

平成24年度から本学体育学部武道学科に正式に「空手道」専攻コースが設置され、本格的に空手道指導者を育成する体制が整いました。また昨年平成28年には多摩キャンパスにも専用の教場を与えて頂きました。

このおかげで部員が飛躍的に増加し、現在、平成28年度で部員総勢86名という、学生空手道界でも有数の部員数を誇る部に成長しました。

部内にはさまざまな流派の部員がおりますが、流派にこだわる事なく、空手道はひとつという理念のもと、邁進しています。

国士舘大学空手道部　戦績

男子団体

関東大学空手道選手権大会　男子団体組手
- 第20回大会　第3位（昭和52年）
- 第21回大会　第3位（昭和53年）
- 第24回大会　準優勝（昭和56年）
- 第28回大会　第3位（昭和60年）
- 第30回大会　優　勝（昭和62年）
- 第31回大会　準優勝（昭和63年）
- 第33回大会　第3位（平成2年）
- 第34回大会　準優勝（平成3年）
- 第35回大会　優　勝（平成4年）
- 第39回大会　準優勝（平成8年）
- 第45回大会　優　勝（平成14年）
- 第46回大会　第3位（平成15年）
- 第47回大会　第3位（平成16年）
- 第50回大会　第3位（平成19年）
- 第51回大会　準優勝（平成20年）
- 第55回大会　準優勝（平成24年）
- 第56回大会　準優勝（平成25年）
- 第57回大会　準優勝（平成26年）
- 第58回大会　第3位（平成27年）
- 第59回大会　第3位（平成28年）

関東大学空手道選手権大会　男子団体型
- 第45回大会　第3位（平成14年）
- 第47回大会　第3位（平成16年）
- 第49回大会　第3位（平成18年）
- 第57回大会　準優勝（平成26年）
- 第58回大会　第3位（平成27年）
- 第59回大会　第3位（平成28年）

東日本大学空手道選手権大会　男子団体組手
- 第17回大会　準優勝（昭和56年）
- 第27回大会　準優勝（平成3年）
- 第37回大会　準優勝（平成13年）
- 第38回大会　準優勝（平成14年）
- 第39回大会　優勝（平成15年）
- 第40回大会　第3位（平成16年）
- 第46回大会　第3位（平成22年）
- 第47回大会　優勝（平成23年）
- 第48回大会　準優勝（平成24年）
- 第49回大会　準優勝（平成25年）
- 第50回大会　優勝（平成26年）
- 第51回大会　準優勝（平成27年）
- 第52回大会　優勝（平成28年）
- 第53回大会　準優勝（平成29年）

全日本大学空手道選手権大会　男子団体組手
- 第22回大会　第3位（昭和53年）
- 第28回大会　第3位（昭和59年）
- 第30回大会　第3位（昭和61年）
- 第31回大会　準優勝（昭和62年）
- 第40回大会　準優勝（平成8年）
- 第44回大会　第3位（平成12年）
- 第46回大会　準優勝（平成14年）
- 第47回大会　第3位（平成15年）
- 第52回大会　第3位（平成20年）
- 第55回大会　第3位（平成23年）
- 第56回大会　第3位（平成24年）
- 第59回大会　第3位（平成27年）
- 第60回大会　第3位（平成28年）

全日本大学空手道選手権大会　男子団体型
- 第51回大会　第3位（平成18年）
- 第52回大会　第3位（平成19年）
- 第59回大会　第3位（平成27年）
- 第60回大会　準優勝（平成28年）

女子団体

関東大学空手道選手権大会　女子団体組手
- 第40回大会　第3位（平成9年）
- 第41回大会　第3位（平成10年）
- 第42回大会　第3位（平成11年）
- 第43回大会　準優勝(平成12年)
- 第44回大会　第3位（平成13年）
- 第45回大会　第3位（平成14年）
- 第46回大会　第3位（平成15年）
- 第48回大会　準優勝（平成17年）
- 第49回大会　準優勝（平成18年）
- 第50回大会　第3位（平成19年）
- 第51回大会　第3位（平成20年）
- 第57回大会　第3位（平成26年）

関東大学空手道選手権大会　女子団体型
- 第44回大会　第3位（平成13年）
- 第45回大会　第3位（平成14年）
- 第47回大会　第3位（平成16年）
- 第55回大会　第3位（平成24年）
- 第56回大会　第3位（平成25年）
- 第58回大会　準優勝（平成27年）
- 第59回大会　第3位（平成28年）

東日本大学空手道選手権大会　女子団体組手
- 第33回大会　第3位（平成9年）
- 第34回大会　第3位（平成10年）
- 第35回大会　第3位（平成11年）
- 第36回大会　第3位（平成12年）
- 第39回大会　優勝（平成15年）
- 第40回大会　準優勝（平成16年）
- 第41回大会　第3位（平成17年）
- 第42回大会　準優勝（平成18年）
- 第46回大会　第3位（平成22年）
- 第53回大会　準優勝（平成29年）

全日本大学空手道選手権大会　女子団体組手
- 第43回大会　準優勝（平成11年）
- 第44回大会　第3位（平成13年）
- 第47回大会　第3位（平成15年）
- 第60回大会　第3位（平成28年）

全日本大学空手道選手権大会　女子団体型
- 第56回大会　第3位（平成24年）
- 第59回大会　準優勝（平成27年）

・1963年創部
・部　長　角田　直也（体育学部卒）
・副部長　大木　陽悦（法学部卒）
・師　範　山本　英雄（体育学部卒）
・監　督　亀山　歩（体育学部卒）

山本英雄

横道正明

米山英弥

グエン・ホアン・ナン

亀山　歩

粂田　力

宇佐美里香

小池麻琴
写真提供：KARATE JOURNAL

菊池瑞希
写真提供：KARATE JOURNAL

第 52 回　東日本大学空手道選手権大会　男子団体組手優勝（2016 年）